

長期通院と漢方風呂で生活上の支障が軽減した成人アトピーの経過 (45 歳)

症例 ID：001-40-HT3 | 記録日：2016 年 6 月 30 日

1. 診断・治療前経過

中学時代から 30 代前半までアレルギー性鼻炎に悩み、耳鼻科で吸入や薬の処方を受けていました。30 代前半から 30 代半ばにかけて、症状は鼻炎から皮膚炎へ変わり、皮膚科で塗り薬、飲み薬、注射などを受けるようになりました。

30 代半ばから 40 歳前後にかけて、治療内容への疑問から脱ステロイドや漢方薬による治療を調べ、地元で脱ステロイド・脱保湿の治療を始めました。激しいリバウンドにより仕事継続に限界を感じ、松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	鼻炎や皮膚炎に対して、耳鼻科・皮膚科で薬物治療を受けていました。ステロイドを含む治療歴があると考えられますが、具体的な製品名や使用量は不明です。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	中学時代から 40 歳前後まで、耳鼻科・皮膚科で長期にわたり薬物治療を受けていました。
中止時期	40 歳前後に脱ステロイド・脱保湿の治療へ移行しました。
来院前／後	来院前に薬物治療歴があります。来院後のステロイド使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
中学時代～30 代前半	来院前	アレルギー性鼻炎に悩み、耳鼻科で吸入や薬の処方を受けていました。
30 代前半～30 代半ば	来院前	症状が鼻炎から皮膚炎へ変わり、皮膚科の受診が増えました。
30 代半ば～40 歳前後	来院前	脱ステロイド・脱保湿の治療を始めましたが、激しいリバウンドで仕事継続に限界を感じました。
40～42、43 歳頃	治療前半	埼玉県在住のため年 1～2 回の受診と電話診療を併用し、漢方薬の郵送を受けながら治療を継続しました。強い炎症があり、漢方風呂では大量の皮が浮く状態でした。
43 歳～2016 年頃	経過後半	通常時・入浴時を問わず皮のめくれる程度が減り、皮膚のただれも減ってきました。悪化を繰り返しながらも、総合的には軽減しました。
2016 年 2 月頃以降	回復傾向	炎症が治まる時間があり、最悪期と比べると 5 分の 1 以下と感じる状態になりました。健康な状態に近いレベルで仕事もこなせるようになりました。

4. ピーク時期

ピークは 40 歳前後の脱ステロイド・脱保湿後に、仕事継続に限界を感じるほど強いリバウンドが出た時期です。松本医院治療前半期にも強い炎症が続き、漢方風呂で大量の皮が浮く状態でした。

5. 困りごと

- ・遠方在住のため、年 1～2 回の受診と電話診療、薬の郵送を組み合わせる必要がありました。
- ・強いリバウンドで仕事継続に限界を感じる時期がありました。
- ・漢方風呂には 3 時間以上、長い時には 6 時間近く入ることがあり、治療時間の確保が大きな負担でした。
- ・金銭的負担、塗り薬が服につくこと、仕事のストレスを抱えながら治療する難しさがありました。

6. 経過のまとめ

鼻炎から皮膚炎へ症状が変化し、40 歳前後に脱ステロイド・脱保湿後の強いリバウンドを経験しました。松本医院受診後は、遠方からの受診と電話診療を併用しながら、漢方薬や漢方風呂を中心に治療を継続しました。

治療開始から約 2 年を経て、皮のめくれや皮膚のただれは減り、2016 年 2 月頃以降は炎症が治まる時間が増え始め、健康な状態に近いレベルで仕事をこなせるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。